

1, フランス第二帝政

ナポレオン3世(1808~73)

- 「パリ大改造」⇒不衛生、せまい街路⇒()1と広場⇒光と風を入れる
 エトワール凱旋門から放射状に並木が配された12本の大通り
 ルーブル宮新館や()2座(1874年竣工)などの文化施設の建設
 上下()3を設置し学校や病院などの公共施設などの拡充
 ⇒衛生面で大幅な改善⇒流行していた()4の発生を抑制
- 国民の人気を得るため⇒()5
- クリミア戦争(1853~56)---()6、フランス、イギリス 対 ロシア ⇒ロシア敗北
 ロシア---バルカン半島でオスマン支配下のセルビア、モンテネグロ等の独立運動
 ⇒「汎()7主義」により支援
- 英 仏---ロシアの中東での勢力拡大を危惧してオスマン側で参戦
- アロー戦争(1856~)---(イギリスのプリント参照) 仏は宣教師殺害を口実に参戦。1857天津条約
- 仏越戦争(1858~62)---ベトナム(越南)の阮朝(1802~)との戦争。19世紀始めから通商をもとめるが、()8政策により拒否。1847年仏軍艦が武力行使⇒51~57年仏・スペイン宣教師を
 処刑⇒58年仏はスペインと連合して武力侵攻⇒1862年第一次()9条約
 キリスト教布教の自由、2千万フランの賠償金、コーシャンシーヌ❖a東部三省など割譲。
- ❖a---ベトナム南部。67年にはコーシャンシーヌ全省を支配下に置き、進出の足がかりとする。
- イタリア統一戦争(1859~前プリント)
- メキシコ出兵(1861~67) 1861年ベニート・ファレス政権誕生⇒国内の経済的混乱を鎮めるために債務の
 ()10の一時停止を発表⇒債権国の仏と英・スペイン(62撤兵)が出兵
 1863年6月()11市陥落⇒オーストリア皇弟マクシミリアン大公を皇帝に傀儡政権
 1867年フランスは()12の脅威のため撤退⇒メキシコ共和政復活
- 普仏戦争(1870~71) スペイン王位継承問題が発端
 フランス軍ドイツ国境に侵攻⇒プロイセン軍は野砲と()13輸送を活用
 仏大敗⇒ナポレオン3世と10万の仏兵が()14に。
 ナポレオン3世降伏⇒パリで共和政宣言

徹底抗戦を主張するパリの民衆 → 対立 ← ティエール(1797~1877)を首班とする臨時政府=早期講和

2, パリ・コミューンと第三共和政

- 1871年 臨時政府⇒ドイツと講和条約---アルザス・ロレーヌ❖bを割譲 賠償金50億フラン
 パリの民衆⇒1871年3月26日パリ=コミューン(Paris Commune 1871. 3. 18~5. 28)を樹立
 世界初の労働者階級の自治による民主的()15
- 「小ブルジョワ、職人、労働者などを基盤とした革命的な自治政府
 ト()16参政権実現、児童夜間労働の禁止、()17義務教育などの革新的な政策
 ↳ドイツ軍の支援する臨時政府との凄惨な市街戦⇒「()18の一週間」(死者3万人)
 ⇒コミューンは72日で崩壊
- 1875 憲法制定 ⇒「()19共和政」確立⇒義務教育、政教分離などは継承
 上院(元老院)と下院(普通選挙)の二院制 大統領は両院による選出
- ❖b---アルザス・ロレーヌ=「エルザス・()20」=独語。ヴェルダン条約(843)「ロタール領」から。
 中世→神聖ローマ帝国に属する。資源をめくり、三十年戦争・普仏戦争で仏・独の領有争い
 アルザス語→北部はドイツ語方言。南部でアレマン語→フランス語に近い。
 現在のEU議会→国境をこえる象徴⇒アルザスの()21に。
- 1882 国民学校の無償義務教育化

- 1889 ブーランジェ事件 対ドイツ報復をめざす同将軍ら軍部のクーデター未遂事件。国外逃亡。
- 1894 ()22事件
 偽文書により()23人大尉アンリ・ドレフュス❖cにスパイ罪で軍法会議→終身刑
- 「政治家()24❖d、小説家()25❖eなど→復権運動(共和派、左派)
 ↳1906年再審--ドレフュスは無罪に。→「軍部に対する共和派の勝利」
 国粋主義団体「()26フランセーズ」(1905~)
 ⇒ドイツ、ユダヤ人、プロテスタント、共和制への反対勢力。対ドイツ()27⇒帝国主義を志向
- 1880年代~アフリカ(チュニジア)・インドシナで領土拡大。ロシアに資本投下。
- 20世紀初頭 急進社会党、統一社会党結成⇒共和制を支える勢力。
 労働者の直接行動を重視する「サンディカリズム」❖fも。
- ❖c---1859~1935。アルザス生まれ。1891年仏陸軍司令部付き士官となる。同司令部で唯一のユダヤ系将校。
- ❖d---1841~1929。医師、政治家。のち保守派に転向。1906~09、1917~20仏首相。
- ❖e---1840~1902。自然主義文学。「居酒屋」「ナナ」1898年公開状「我弾劾す」を新聞に発表。
- ❖f---労働組合による経済運営を目指す思潮。フランス、イタリア、スペイン、アメリカでも。

国際的連帯の試み

- 「国際労働者協会」
 1864年「第一[]28」マルクスたちがロンドンで結成
 1889年「第二インターナショナル」フランス革命百周年の()29で結成
- 「国際()30社」---アンリ・デュナン(1828~1910)による
 1863年 ジュネーブで国際赤十字の前身「五人委員会」設置。
 1864年15カ国で最初の[]31条約(「傷病者の状態改善に関する第一回赤十字条約」)調印。
 「()32万国平和会議」---ニコライ2世(1868~1918)の提唱による
 1899年開催 26カ国参加。(日・清も)「ハーグ陸戦法規」(1907年改訂)制定。
 ()33を施した兵器の禁止 ()34・傷病者の人道的扱い
 不必要な苦痛を与える兵器=()35弾❖gなどの禁止 などを規定
 「国際紛争平和的処理条約」締結。
- 「国際[]36」1896年第一回アテネ大会---フランスのクーベルタン(1863~1937)提唱
 ❖g---弾頭が窪んでいるホローポイント弾の一種。命中すると先頭がきのこ状に広がり大きなダメージ。



パリコミューン



パリコミューン鎮圧の犠牲者



ピエール・ド・クーベルタン

- ・毒 ・血 ・外征 ・鉄道 ・平和 ・報復 ・無償 ・鎖国 ・解散 ・国境 ・水道 ・婦人 ・第三 ・捕虜(2)
- ・共同体 ・赤十字 ・大通り ・利払い ・パリ ・ゾラ ・オペラ ・ハーグ ・コレラ ・スラブ ・ユダヤ
- ・オスマン ・サイゴン ・メキシコ ・ダムダム ・ドレフュス ・プロイセン ・クレマンソー ・アクション
- ・ストラスブール ・ロートリンゲン